

2016年度生 一般基礎科目

系列	授業科目	開講期 (必修◎/選択○)				単位数	授業回数	授業形態			備考
		1年次	2年次	3年次	4年次			講義	演習	実習 実験	
		春 秋	春 秋	春 秋	春 秋						
一般基礎科目											
人間と文化	人間の心理		○			2	15	●			[人間と文化]から1科目以上修得すること
	文学と人生		○			2	15	●			
	生活と文化		○			2	15	●			
	人間と芸術		○			2	15	●			
	福祉学		○			2	15	●			
	生命倫理学		○			2	15	●			
	世界から見た日本の文化		○			2	15	●			
歴史と社会	日本の歴史		○			2	15	●			[歴史と社会]から1科目以上修得すること
	外国の歴史		○			2	15	●			
	政治の仕組		○			2	15	●			
	社会の構造		○			2	15	●			
	経済の仕組		○			2	15	●			
	生活と法律		○			2	15	●			
	日本国憲法		○			2	15	●			
	世界と日本		○			2	15	●			
	企業情報特論		○			2	15	●			
保体	健康の科学		○			2	15	●			[保体]から1科目以上修得すること
	スポーツ実技		○			1	15			●	
その他	リスク危機管理論			◎		2	15	●			
	教養特別講義			○		2	15	●			
	企業等体験実習			○		2	30	●		●	
外国語Ⅰ	英語Ⅰ	○				1	15		●		日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること
	日本語Ⅰ	○				1	15		●		
	日本語理解Ⅰ	○				1	15		●		
外国語Ⅱ	英語Ⅱ		○			1	15		●		ただし、日本語科目は日本語を母国語としない学生のみ履修できる
	日本語Ⅱ		○			1	15		●		
	日本語理解Ⅱ		○			1	15		●		
外国語Ⅲ	実用英会話Ⅰ			○		1	15		●		日本語を母国語としない学生は、[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること
	英文講読Ⅰ			○		1	15		●		
	中国語Ⅰ			○		1	15		●		
	韓国語Ⅰ			○		1	15		●		
	日本語Ⅲ			○		1	15		●		
	日本語表現Ⅰ				○	1	15		●		
外国語Ⅳ	実用英会話Ⅱ			○		1	15		●		
	英文講読Ⅱ			○		1	15		●		
	中国語Ⅱ			○		1	15		●		
	韓国語Ⅱ			○		1	15		●		
	日本語Ⅳ			○		1	15		●		
	日本語表現Ⅱ				○	1	15		●		

卒業要件(一般基礎科目): 16単位以上

注1 英語の単位に対しては、TOEICおよびTOEIC-IPの得点によっても単位を認定する。

TOEIC 400点以上 … 外国語Ⅰ(英語Ⅰ)より1単位

TOEIC 500点以上 … 外国語Ⅰ(英語Ⅰ)、外国語Ⅱ(英語Ⅱ)より2単位

TOEIC 600点以上 … 外国語Ⅰ(英語Ⅰ)、外国語Ⅱ(英語Ⅱ)、外国語Ⅲ(実用英会話Ⅰ)より3単位

TOEIC 700点以上 … 外国語Ⅰ(英語Ⅰ)、外国語Ⅱ(英語Ⅱ)、外国語Ⅲ(実用英会話Ⅰ)、外国語Ⅳ(実用英会話Ⅱ)より4単位

注2 日本語の単位に対しては、日本語能力試験によっても単位を認定する。

日本語能力試験 N1 … 日本語Ⅰ～Ⅳの4単位

注3 日本語を母国語としない学生は、2年次進級までに日本語能力試験N2を取得しなければならない。

2016年度生 看護学部 看護学科 専攻科目

系列	授業科目	開講期(必修◎/選択○)				単位数	授業回数	授業形態			備考			
		1年次		2年次				講義	演習	実習		実験		
		春	秋	春	秋									
専攻科目														
専門基礎科目	いのちを科学する	からだの構造と機能Ⅰ(解剖学)	◎				1	15	●			[専門基礎科目]から、いのちと生活Ⅳ(薬と危機管理)、医療専門職連携導入、医療専門職連携発展のいずれか1単位以上を含む28単位以上修得すること		
		からだの構造と機能Ⅱ(生理学)	◎				2	30	●					
		健康の回復促進Ⅰ(病態治療学総論)			◎			2	15	●				
		健康の回復促進Ⅱ(薬理学)			◎			2	15	●				
		いのちのしくみⅠ(生化学)		◎				1	8	●				
		いのちのしくみⅡ(微生物学)		◎				1	8	●				
		こころを科学するⅠ(発達心理学)		◎				2	15	●				
		こころを科学するⅡ(人間関係論)		◎				2	15	●				
		いのちと生活Ⅰ(栄養学)		◎				2	15	●				
		いのちと生活Ⅱ(疫学)			◎			2	15	●				
		いのちと生活Ⅲ(生活と危機管理)				◎		2	15	●				
		いのちと生活Ⅳ(薬と危機管理)				○		1	8	●				
		健康と社会の仕組みⅠ(保健福祉行政論)				◎		3	23	●				
		健康と社会の仕組みⅡ(保健医療統計)				◎		2	15	●	●			
		健康と社会の仕組みⅢ(社会福祉論)				◎		1	8	●				
		健康と社会の仕組みⅣ(情報危機管理)	◎					2	15	●	●			
	医療専門職連携導入		○				1	8		●				
	医療専門職連携発展					○	1	8		●				
	専門科目	基盤分野看護学	基盤看護学概論	◎				2	15	●				
			看護理論		◎			2	15	●				
基盤看護技術論Ⅰ(生活の援助技術)				◎			2	30	●	●				
基盤看護技術論Ⅱ(フイナルアセスメント・コミュニケーション)				◎			1	15	●	●				
基盤看護技術論Ⅲ(診療の援助技術)					◎		2	30	●	●				
基盤看護技術論Ⅳ(看護過程)					◎		1	15	●	●				
基盤看護学実習Ⅰ			◎				1	23			●			
基盤看護学実習Ⅱ					◎		2	45			●			
小児・母性看護学		小児看護学概論			◎		1	8	●					
		母性看護学概論			◎		1	8	●					
		小児病態治療学				◎	1	8	●					
		母性病態治療学			◎		1	8	●					
		小児看護援助論Ⅰ				◎	1	15	●	●				
		小児看護援助論Ⅱ				◎	1	15		●				
		母性看護援助論Ⅰ				◎	1	15	●	●				
		母性看護援助論Ⅱ				◎	1	15	●	●				
		小児看護学演習				◎	(◎)	1	15		●			
		母性看護学演習				◎	(◎)	1	15		●			
		小児看護学実習				◎	(◎)	2	45			●		
		母性看護学実習				◎	(◎)	2	45			●		
発達分野看護学		成人看護学概論		◎			1	8	●					
		老年看護学概論		◎			1	8	●					
		成人病態治療学Ⅰ			◎		1	8	●					
		成人病態治療学Ⅱ			◎		1	8	●					
		老年病態治療学			◎		1	8	●					
		成人急性期看護援助論Ⅰ			◎		1	15	●	●				
		成人急性期看護援助論Ⅱ				◎	1	15	●	●				
		成人慢性期看護援助論Ⅰ			◎		1	15	●	●				
		成人慢性期看護援助論Ⅱ				◎	1	15	●	●				
		老年看護援助論Ⅰ			◎		1	15	●	●				
		老年看護援助論Ⅱ				◎	1	15	●	●				
		成人急性期看護学演習				◎	(◎)	1	15		●			
		成人慢性期看護学演習				◎	(◎)	1	15		●			
		老年看護学演習				◎	(◎)	1	15		●			
		成人急性期看護学実習				◎	(◎)	3	68			●		
		成人慢性期看護学実習				◎	(◎)	3	68			●		
		老年看護学実習Ⅰ			◎		1	23				●		
		老年看護学実習Ⅱ				◎	(◎)	3	68			●		

2016年度生 看護学部 看護学科 専攻科目

系列	授業科目	開講期(必修◎/選択○)				単位数	授業回数	授業形態			備考				
		1年次		2年次				講義	演習	実習		実験			
		春	秋	春	秋								春	秋	
専攻科目															
専門科目	発達分野看護学	精神看護学概論			◎			1	8	●					
		精神病態治療学				◎		1	8	●					
		精神看護援助論Ⅰ				◎		1	15	●					
		精神看護援助論Ⅱ				◎		1	15	●	●				
		精神看護学演習					◎	(◎)	1	15		●			
		精神看護学実習					◎	(◎)	2	45			●		
	広域分野看護学	在宅・公衆衛生看護学	在宅看護学概論		◎				1	8	●				
			公衆衛生看護学概論Ⅰ			◎			1	8	●				
			公衆衛生看護学概論Ⅱ(養護概説)			○				2	15	●	●		
			在宅看護援助論Ⅰ			◎			1	15		●			
			在宅看護援助論Ⅱ				◎		1	15	●	●			
			公衆衛生看護方法論Ⅰ				○			2	15	●			
			公衆衛生看護方法論Ⅱ				○			2	15	●			
			公衆衛生看護方法論Ⅲ				○			2	15	●			
			公衆衛生看護方法論Ⅳ(学校保健)				○			2	15	●	●		
			公衆衛生看護技術演習Ⅰ				○			2	30		●		
			公衆衛生看護技術演習Ⅱ				○			2	30		●		
			在宅看護学演習					◎	(◎)	1	15		●		
			在宅看護学実習					◎	(◎)	2	45			●	
			公衆衛生看護学実習Ⅰ				◎			1	23			●	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ					○		2	45			●			
	公衆衛生看護学実習Ⅲ						○	2	45			●			
	統合分野看護学	統合共通看護学1	災害看護学			○			1	8	●			[統合共通看護学1]から3単位以上修得すること。	
			リスクマネジメント論			○			1	8	●				
			感染看護学			○			1	8	●				
			国際看護学						○	1	8	●			
		統合共通看護学2	リハビリテーション看護学						○	1	8	●			[統合共通看護学2]から3単位以上修得すること。
			看護管理学						○	1	8	●			
			看護倫理学				◎			1	8	●			
			家族看護学				○			1	8	●			
看護学教育								○	1	8	●				
看護の統合と実践(看護研究方法論)								◎	1	15	●				
看護の統合と実践演習(卒業研究)						◎	2	30		●					
看護の統合と実践実習						◎	2	45			●				

卒業要件 一般基礎科目 : 16単位以上
 専攻科目 : 108単位以上
 合計 : 124単位以上